科目名	専門演習Ⅱ　　Seminar Ⅱ						
科目担当者	山梨 顕友　　YAMANASHI Akitomo						
単位数	4	配当年次	３年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	経済学の基礎理論であるミクロ経済学の教科書の輪読を行います。世の中の人々の振る舞いをどのように言い表すことが適当であるか考えてみることにしましょう。 割り当てられた教科書の担当部分についてスライドなどの資料を準備して発表を行ってください。意見や質問などは随時歓迎します。研究課題の選択に応じて参照する文献を変更する場合があります。また、研究資料の収集活動を行う場合があります。						
授業の到達目標	①　経済学の基礎理論である経済学の文献の輪読を通して、現実社会で活用できるように学習した理論についてさまざまな観点から検討して、その含意を考えることができる。						

授業計画・内容

1	ガイダンス	16	部分均衡分析
2	合理的行動	17	一般均衡分析
3	選好と無差別曲線	18	外部性
4	最適消費	19	公共財
5	限界分析	20	独占
6	最適消費の性質	21	ゲームの理論
7	補償需要関数	22	不確実性と期待効用
8	支出関数	23	混合戦略均衡
9	所得効果と代替効果	24	時間を通じたゲーム
10	価格弾力性	25	部分ゲーム完全均衡
11	企業	26	コミットメント
12	一要素生産	27	長期的関係と協調
13	二要素生産	28	保険とモラルハザード
14	一般モデル	29	逆選択とシグナリング
15	利潤と所得分配	30	総括

授業外学修 (事前学修)	発表者：　発表の準備をしてください。 それ以外：教科書の対応する部分を熟読しましょう。よく分からない用語があれば確認しておいてください。(2 時間程度)
授業外学修 (事後学修)	授業の内容を教科書や配布されたスライド等で復習し，理論を適用することができる現実の事例がないか考えてみましょう。（2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
発表	70%	①
意見や質問などによる授業への貢献	30%	①

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	神取道宏『ミクロ経済学の力』日本評論社
参考文献	
その他	